



Mutsumi Hirai



Mariko Nogami



Yuuko Miura

「静」と「動」

～県内ガラス作家5人展～



Hiroi Hanaoka



Syoutarou Migaki

2016.7/13 水 → 12/5 月

会場／妖精の森ガラス美術館2階企画展示室



妖精の森ガラス美術館
Fairywood Glass Museum

「静」と「動」

～県内ガラス作家5人展～

ガラスは不思議な物質です。加熱していくと金属のように一定の温度で溶けるのでなく徐々に柔らかくなっていき、冷める時もトロリとした状態から固くなるまでしばらく時間がかかります。ガラス作家たちは、ガラスが固くなっていく間に自分のイメージに合わせて“かたち”を整えていきます。

ガラスは古代オリエントから現代に至るまで、4000年にわたって世界各地で作られてきました。今回の5人のガラス作家たちは、全盛期のヴェネチアン・ガラスや日本の伝統工芸、現代美術のオブジェなど、自分の感性に響きあう要素を取り込んでそこから独自のスタイルを築き上げてきました。柔らかいガラス素材からどのような“かたち”を導きだしたのか、そのプロセスを想像しながら作品をお楽しみください。

また、5名の作家たちに「妖精の森ガラス」を使った作品を制作してもらい、この展覧会の中でご紹介します。これまでと違う輝きを持った素材をそれぞれがどのように自作に生かすのか興味深いところです。この機会には是非ご覧ください。



野上 真理子 Mariko Nogami

バーナーワークという技法を用い、細かな細工を施した様々な色彩の立体作品を制作しています。ガラス細工は2000度の炎でガラスを熱し、灼熱色となって生き物のように動き始めたその一瞬に形を整形していきます。ガラスという素材の美しさ、不思議さ、奥深さにすっかりと魅了され、現在に至ります。細工ならではの繊細さ、美しさを伝えられるよう、日々制作しております。ご高覧いただけると幸いです。



三浦 侑子 Yuuko Miura

むかしの人々がつくった素朴なモノたちに心惹かれます。アートやオブジェ、うつわといった概念がまだないような頃に、日々の暮らしの中で自然と溢れ出した感性でつくられた素材感豊かで芯のある美しいものを見つめるとワクワクします。吹きガラスという技法を通してガラスと向き合い、いろいろなモノをつくってみたいのです。



花岡 央 Hiroi Hanaoka

備前市で吹きガラスをしているヒロイガラススタジオの花岡央です。洋服を選ぶように器を選び、使い楽しむ暮らしが各家庭の様々なシーンで生まれることを目標に制作・提案しています。備前のお米（未熟米）を発色剤の一つに使ったGRICEシリーズや、京都の町屋などの戸や窓に使われる縦格子「連子」をモチーフにして器に映したrenを中心に、日常使ううつわを作っています。



三垣 祥太郎 Syoutarou Migaki

ガラス作品を作り続けている大きな理由としてレースガラスとの出会いがあります。ヴェネツィアで発祥した伝統ある技法、フィリグラナ（レースガラス）。溶かし、伸ばし、捻り、つなぎ合わせ、膨らませる。制作工程においても、出来た作品においても尽きることなく、この技法を用いて出来る作品は私を魅了して止みません。緻密な線が繊りなレース模様を是非ご高覧ください。



平井 睦美 Mutsumi Hirai

私のスタイルはカタチを吹きガラスで成形し、そのあとサンドブラストで時間をかけて深く削ります。削る作業はとても根気と時間がかかる…。派手ではないこの作業でできあがった模様には光と影…屈折や錯覚。色々な見え方や表情があります。日々の中のほんのひとコマに少しのトキメキを感じてもらえるようなモノづくりを心がけて日々制作しています。



Fairywood Glass Museum

妖精の森ガラス美術館

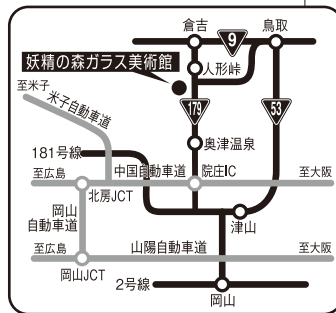
【開館】9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

【休館日】火曜日(祝日の場合は開館)

【入館料】

	個人	団体
大人・大学生	500円	400円
高校生	400円	300円
小学・中学生	300円	200円

●団体は20名以上
●小学生未満無料



岡山県苫田郡鏡野町上齋原666-5
TEL 0868-44-7888 FAX 0868-44-7889
<http://kanko.town.kagamino.lg.jp/fairywood/>